

コロナ禍からの経済回復策は

事業継続支援に加え 今後さらなる対策を予定



櫻田 百合子
(市民連合クラブ)

議員 コロナ禍における経済回復に向けた対策は。

市長 事業継続支援を目的に、飲食業、交通事業、宿泊業、小売業、卸売業、サービス業など幅広い業種の経済支援を実施してきました。地域経済の活性化のため、さらに本定

例会に補正予算を追加提案する予定です(3ページ参照)。

議員 小・中学校で臨時休校による学習の遅れが生じたが、今後の対応は。

教育長 行事を精選する、夏休み・冬休みを減らして授業日を設ける、土曜授業を実施する、5時間授業の日を6時間にするなどの方策を組み合わせ、授業時数を確保します。

議員 夏の出校日の熱中症対策として、エアコンを保健室や仲よし会だけでなく普通教室にも配備できないか。

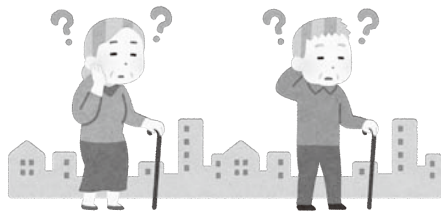
教育部長 公共施設の建築・改修等の大規模事業が進行中なので、財政状況を見極めながら検討します。

議員 認知症高齢者の徘徊問題や現在の取組をどのように捉え、

評価しているか。

健康福祉部長 行方不明後の早期発見と保護が重要です。徘徊の心配がある方の情報を事前登録する徘徊高齢者等支援事業の周知が急務と考えています。

議員 今後の対応は。
健康福祉部長 地域包括支援センター等と連携した、対象となり得る方への事前登録の働きかけ、情報発信用の駒らん情報メールへの市民の登録推進、地域で見守る認知症サポートの養成に努めたいと考えます。



予期せぬ徘徊に備え市への事前登録を



中嶋 秀一
(自民公明クラブ)

議員 新型コロナウイルス感染症に係る市の対策を、テレビや新聞のインタビュー等でもっとアピールできなかったか。

市長 2月に設置した対策本部会議を全6回報道機関へ公開したほか、3回の記者会見を行うなど、迅速に情報提供してきました。

市内で感染者が発生した際には「広報とわだ」臨時号を発行し、感染拡大防止に向けた取組、感染が確認された中央病院の状況や対応等のお知らせのほか、感染者等への誹謗中傷の自制のお願いをしました。引き続き市民との情報共有に努めます。

もっと新型コロナ対策の 情報発信を

会議の公開や広報臨時号の発行等で
市民との情報共有に努めている

議員 中央病院の医師や看護師等に慰労金を支給してはどうか。

病院事務局長 厚生労働省第2次補正予算で、医療従事者等への最大20万円の給付が見込まれているため、市独自の給付は予定していません。



命がけで働く医療従事者に相応の待遇を

議員 農林商工部長 市有害鳥獣対策マニュアルに基づき対応しましたが、庁舎内での放送がなかったなど、幾つかの課題が見つかったことから、現在マニュアルの見直しを行っています。

議員 警戒態勢の解除はどの段階で、どのように周知されるか。

農林商工部長 熊の生態に詳しいNPO法人日本ツキノワグマ研究所に助言を求め、熊の習性や市街地の構造を考慮し、一定期間内に目撃情報がなかったことから、警戒態勢を解除し、これを駒らん情報メールと市ホームページで周知しました。

議員 5月に市街地に出没した熊への市の対応は適切だったか。